

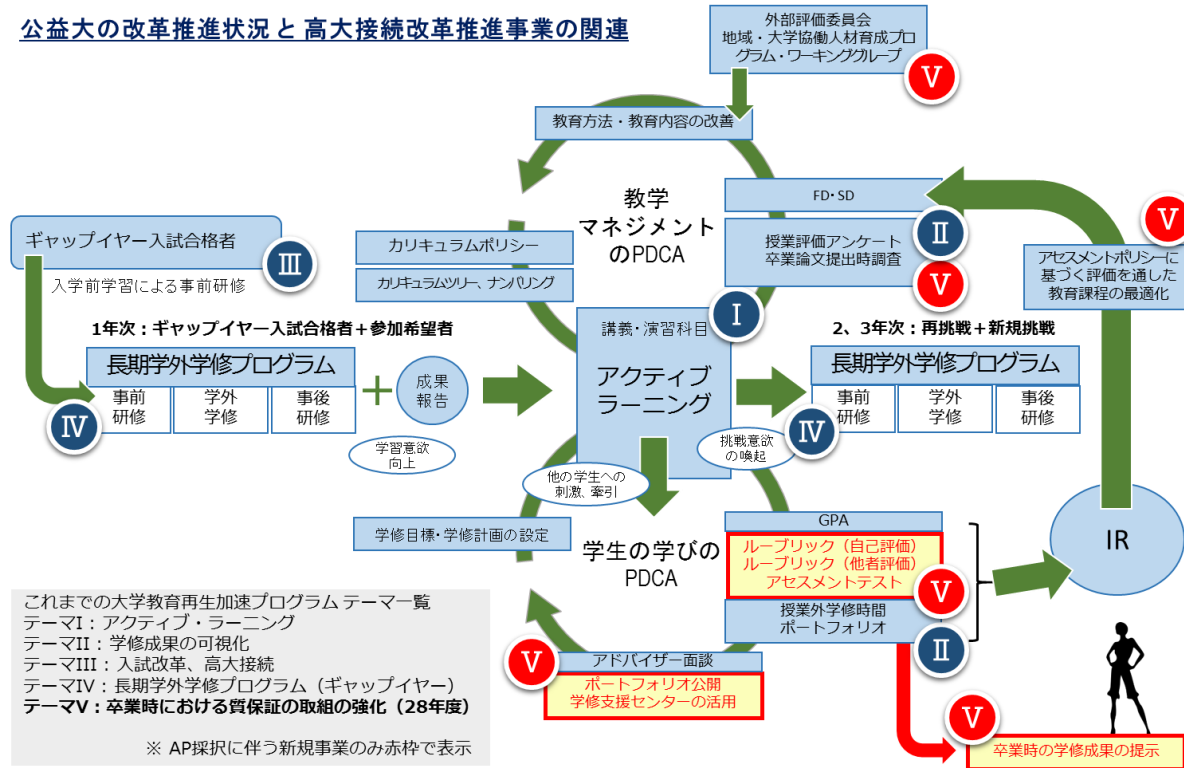
大学等名：東北公益文科大学

テーマ：テーマV（卒業時における質保証の取組の強化）

取組概要

- ・ **コーチング法**を用いたアドバイザー面談に加え、身近なモデルを提供する**ミラーリング法**の導入により、学生自身の振り返りや目標設定を充実させる
- ・ **学修支援センター・ラーニングcommonsを新設**し、成績が振るわない学生の学修機会や意欲の高い学生が共に学びあう機会を提供する
- ・ 導入済みのアセスメントツールと新規に導入するアセスメントツールを有機的に関連づけ、学修成果を客観的に評価・可視化する
- ・ 学修目標や学修状況、アセスメント結果、振り返り等を蓄積し、**目に見える形で社会に発信可能なポートフォリオを新規に開発**し、在学中に活用することで学生の質的充実を図る
- ・ **ステークホルダと緊密に連携**し、育成すべき人材像を明確にすると共に人材育成の評価方法の開発や評価の実施を共同で行う

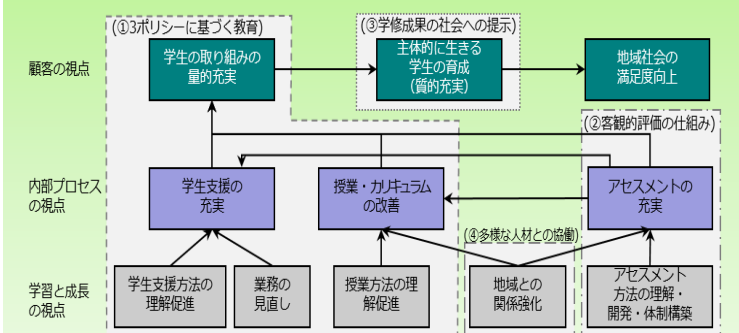
公益大の改革推進状況と高大接続改革推進事業の関連



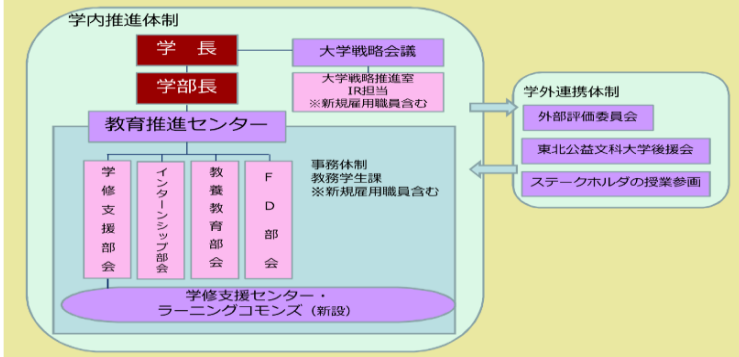
これまでの大学教育再生加速プログラムテーマ一覧
 テーマI：アクティブ・ラーニング
 テーマII：学修成果の可視化
 テーマIII：入試改革、高大接続
 テーマIV：長期学外学修プログラム（ギャブパイヤー）
 テーマV：卒業時における質保証の取組の強化（28年度）

※ AP採択に伴う新規事業のみ赤字で表示

KUAP戦略マップ



AP事業推進体制



- ★期待される取り組みの効果★
- 1) 自身の成長実感が加速し学修の主体性が向上する（学生）
 - 2) 授業外学修時間が増える（学生）
 - 3) GPAが向上する（学生）
 - 4) 大学教育満足度が上がる（学生）
 - 5) 学位プログラムが最適化される（大学）
 - 6) 進路決定率が向上し就職先企業の満足度が上がる（社会）

【事業の成果】	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	31年度 (目標値)
学生の授業外学修時間（1週間当たり）	10時間	12時間	15時間	20時間
卒業生追跡調査の実施率（調査回答者数/卒業生数）	—	10.0%	15.1%	25.3%
進路決定の割合（正規雇用・進学者数/卒業生数）	94.5%	95.9%	96.5%	98.4%